



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区海岸2丁目1番25号
郵便番号105-0022
電話 東京(03)3455-5321大代表
©日刊自動車新聞社2008

12月17日
(水曜日)

車体整備事業の「経営」探る

2代目経営者の立場で車体整備事業の経営のあり方を考え直そうという動きが始まっている。埼玉自動車車体整備協同組合青年部(神山憲秀会長)が、勉強会である「志塾」を開催し、取り組み始めた。仲間を募り、新年から毎月1回の勉強会を実施、正式なスタートを切る。

2代目経営者 「志塾」来月本格スタート



見積もり

人あまりの関係者を集め実施した。群馬車協青年部と茨城車協青年部からも参加者が加わった。

群馬車協青年部の神山会長は

正当な作業が料金として認められない 矛盾点の解消目指す

冒頭のあいさつで、休日返しの立場で積極的に発言し、車体整備業界の地位向上に努めたいなどとした考え方を示した。

見積もり テーマにプレ開催

「自分たちで料金を決められたい」という話に参加者は熱心に耳を傾けた。志塾の事務局となる埼玉自動車協青年部の小島雅夫専務は、「よく学び、よく遊べがモットー。経営の最新情報をみんなが学ぶと同時にゴルフコンペやバーベキューなど親睦も深めていきたい」と話す。

とができない現状をどうにかした。プレ開催のテーマは車体整備の見積もりで、青年部会員の先着格となるオートシヨック(埼玉所沢市)の二上伸雄代表取締役から「指数の勘違いをなくそう」とのテーマで講演した。自動車の保

険修理時は、自研センターが策定した指数が工賃試算のベースになる。車体整備業界内では、指数が従来から作業実態にかけ離れているために、「自分たちで料金を決められたい」という話に参加者は熱心に耳を傾けた。

「志塾」が正式にスタートするのは来年1月。初回は評論家・作家で「人間経営塾」の主催などを行っている岬龍一郎さんを講師に「人の上に立つ者の哲学(リーダー学)」をテーマに講義を受ける。毎月テーマを変えてさまざまな外部講師を招き、車体整備業界の地位向上と将来についていろいろな角度から考えていくこととしている。

「志塾」は、正式スタートを切る前にオープン参加で見積もりの基礎をテーマに2度のプレ開催を行い、仲間に参加を呼びかけた。第2回プレ開催は12月11日、さいたま市の大宮ソニックシティで50

「鋼板の強度が上がると作業が難しくなれば工賃は高くなる。指数を採用しながら料金を上げていくことを考えていかなければならぬ」と指摘した。